（別記）

令和８年度香美町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

【現　状】

香美町の内陸部は１，０００ｍ級の山脈に囲まれており、大規模な機械を導入した農業への取り組みは難しく、急傾斜で小規模農地が多い一方、その地形や気温の寒暖差を利用した「おいしいお米」が本町の農業の主力である。

しかし、農業従事者の高齢化や担い手不足に起因した耕作放棄地の増大、農業生産力の低下などにより本町の農業を取り巻く現状は非常に厳しいものとなっている。さらに、近年の異常気象や獣害による作物被害が深刻であり、生産現場においては、生産意欲の低下を招いており、農業生産力をさらに衰退させている状況である。

【課　題】

農業従事者の高齢化、担い手不足による耕作放棄地の増大や農業生産力の低下が大きな課題となっている。また、近年の異常気象による品質低下や生産資材の高騰により、農業者の経営安定という面でも大きな影響を与えている。

このような状況を踏まえ、関係機関と協力し、担い手の確保を進めるとともに、主食用米の需要と供給の状況を踏まえながら、需要に即した米生産を進めるとともに、高収益作物への作付け転換といった水田のフル活用をこれまで以上に推進し、農業者の経営安定と収益力強化を図っていく必要がある。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

本町で振興している小豆（美方大納言を含む）は水稲作付時期との合間に作業を進めることが出来、農家の所得向上につながっている。しかし、実需者の求める出荷量には届いておらず、今後も産地として戦略的に面積拡大に努めたい。

また、振興品目であるピーマンは、但馬全域で振興に取り組んでおり、「たじまピーマン」として関西一の産地として評価されており、生産拡大に向けて、引き続き推進するとともに、ＪＡ等の関係機関と協力しながら、キャベツやそばといった他の作物に比べ、作付面積が大きい作物の作付面積拡大を図り、新たな市場の開拓にもつなげていきたい。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本町の農業の主力は、水稲であるため、少ない生産量であっても需要に応じた生産を引き続き進める。

また、水稲を組み入れない作付体系が定着し、畑作物のみを生産し続けている水田がないか、今後も水稲作に活用される見込みがないか等の視点から水田の利用状況を水田台帳等を活用しながら定期的に点検し、上記のような水田については、要件を確認しつつ畑地化支援を活用した畑地化を促すことや水稲作付水田と転換作物作付水田のローテション化を図るために、地域の方々や関係機関との話し合いの場を設けるなどし、地域の実情に合わせた水田の有効利用について検討する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米
　産地の地形や気候を活かし、少ない生産量であっても、食味豊かで高付加価値の米作り（特Ａランクのコシヒカリ、各ブランド米等）を行い、需要と直結した生産を拡大するための取組を着実に推進し、生産者の体質強化や所得の安定を図る。

（２）備蓄米
　本町では、以前から備蓄米の生産実績はない。

（３）非主食用米
　ア　飼料用米、イ　米粉用米、ウ　新市場開拓用米、エ　WCS 用稲、オ　加工用米
　本町では、以前からア～ウの非主食用米の生産実績はないが、エの WCS 用稲、オの加工用米については、少量ではあるが作付けがなされている。
　今後も主食用米の需要が減少することが見込まれるため、非主食用米の新規生産、生産拡大に向け、JA などの関係機関と協力し、農業者に働きかけ、所得向上と水田の維持に取り組んでいく。

（４）麦、大豆、飼料作物
　麦については、降雪地帯である本町は以前より作付が難しいものの、少量ではあるが作付けがなされている。国産小麦の需要も高まっており、寒冷地に適した品種等も開発されていることから、現場と調整し、作付の検討を行う。
　大豆においては、高齢化により縮小が危ぶまれており、現行規模の栽培面積を維持することが難しい状況である。地域特産の加工品（味噌）の材料として活用しており、加工品の需要が高まる中、今後、新規栽培生産者の確保に努める。
　飼料作物については、畜産農家と耕種農家による耕畜連携を推進することで、低コスト・省力化を目指す。

（５）そば、なたね
　地域の実需者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持しつつ、新規の栽培農家の開拓に努める。

（６）地力増進作物
　地力増進作物については、土壌の生産性や持続性を高める効果があるため、関係機関と協力し、地力増進作物による土づくりを推進していく。

（７）高収益作物
　本町でも振興している小豆（美方大納言を含む）の他に、振興品目であるピーマンやキャベツ、そばの生産拡大に向けて、引き続き推進するとともに、ＪＡ等の関係機関と調整を図りながら、生産者の体質強化や所得の安定を図る。
　その上で、新しい作物の開拓に向けて取り組む。

（８）畑地化
　高収益作物、畑作物などの転換作物が固定化されている水田については、畑地化への転換を促す。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり
※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	415.5	0	420.7	0	450	0
備蓄米	0	0	0	0	1	0
飼料用米	0	0	0	0	1	0
米粉用米	0	0	0	0	1	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	1	0
WCS用稲	1.1	0	0	0	1	0
加工用米	2.4	0	1.9	0	3	0
麦	0.08	0.08	0.08	0.08	1	0
大豆	1	0	0.9	0	3	0
飼料作物	2.09	0	2.3	0	7	1
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	1	0
そば	3.1	0.07	4	0.07	3	1
なたね	0	0	0	0	1	0
地力増進作物	0.01	0	0.01	0	1	0
高収益作物	33.1	0	33.8	0	39.5	0
・野菜	25.9	0	26	0	30	0
・花き・花木	0.9	0	1	0	1.5	0
・果樹	1.3	0	1.6	0	1.5	0
・その他の高収益作物	5	0	5.2	0	7	0
その他	1.4	0	1.5	0	0	0
畑地化	1.8	0	1.8	0	3	0

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小豆 大納言小豆	産地化基本助成①	作付面積拡大	（令和７年度）　4.2	（令和８年度）　5.0
2	ピーマン	産地化基本助成②	作付面積拡大	（令和７年度）　0.9	（令和８年度）　1.5
3	キャベツ	産地化基本助成③	作付面積拡大	（令和７年度）　0.5	（令和８年度）　1.5
4	そば	産地化基本助成④	作付面積拡大	（令和７年度）　1.5	（令和８年度）　2.5
5	一般作物	産地化基本助成⑤	作付面積拡大	（令和７年度）　4.2	（令和８年度）　4.0
6	加工用米、大豆、飼料作物 小豆、大納言小豆、ピーマン キャベツ、一般作物	担い手加算	作付面積拡大	（令和７年度）　6.9	（令和８年度）　12.0
7	美方大納言小豆	栽培技術加算	作付面積拡大	（令和７年度）　3.2	（令和８年度）　4.0
8	麦、大豆、飼料作物 飼料用米、米粉用米、WCS用稲 加工用米、そば、なたね	二毛作助成（二毛作）	作付面積拡大	（令和７年度）　0.2	（令和８年度）　1.0
9	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	耕畜連携助成 （わら利用、水田放牧、資源循環）（耕畜連携）	作付面積拡大 対象農家数増加	（令和７年度）　0.5 （令和７年度）　1戸	（令和８年度）　1.0 （令和８年度）　3戸

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：兵庫県

協議会名：香美町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	産地化基本助成①	1	40,000	小豆 大納言小豆	・実需者等に出荷販売することを目的に生産に取り組むこと。
2	産地化基本助成②	1	56,000	ピーマン	・実需者等に出荷販売することを目的に生産に取り組むこと。
3	産地化基本助成③	1	30,000	キャベツ	・実需者等に出荷販売することを目的に生産に取り組むこと。
4	産地化基本助成④	1	10,000	そば	・実需者等に出荷販売することを目的に生産に取り組むこと。
5	産地化基本助成⑤	1	13,000	一般作物	・実需者等に出荷販売することを目的に生産に取り組むこと。
6	担い手加算	1	10,000	加工用米、大豆、飼料作物 小豆、大納言小豆、ピーマン キャベツ、一般作物	・担い手（認定農業者、人・農地プランに位置づけられた中心経営体等）であること。 ・実需者等に出荷販売することを目的に生産に取り組むこと。
7	栽培技術加算	1	16,000	美方大納言小豆	・美方大納言小豆生産組合に加入していること。
8	二毛作助成（二毛作）	2	15,000	麦、大豆、飼料作物 飼料用米、米粉用米、WCS用稲 加工用米、そば、なたね	・対象作物による二毛作に取り組むこと。
9	耕畜連携助成 （わら利用、水田放牧、資源循環） （耕畜連携）	3	13,000	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	・水田で耕畜連携の取り組みを行うこと。

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

（参考）　対象作物一覧表

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号		
戦略作物	麦	小麦	１００	8		
		小麦（種子用）	１０１	8		
		六条大麦	１０２	8		
		二条大麦	１０４	8		
		はだか麦	１０６	8		
	大豆	青大豆	１０９	6	8	
		白大豆（一般）	１２２	6	8	
		白大豆（契約）	１２３	6	8	
		白大豆（種子用）	１１２	6	8	
		黒大豆	１１０	6	8	
		黒大豆（種子用）	１１１	6	8	
	飼料作物	青刈りとうもろこし	１２４	6	8	9
		ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス）	１２５	6	8	9
		わら専用稲	１１３	6	8	9
		その他青刈り（テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ）	１２６	6	8	9
		永年性牧草（オーチャードグラス、チモシー、トールフェスク、メードフェスク、バヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカクローバー、シロクローバー、ペレニアルライグラス リードカナリーグラス、飼料用シバ）	１２７	6	8	9
		イタリアンライグラス	１２８	6	8	9
		その他一年性牧草（ギニアグラス、カラードギニアグラス、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、オオクサキビ）	１２９	6	8	9
		飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート）	１３０	6	8	9
		飼料用穀類（子実用えん麦）	１３１	6	8	9
		青刈りハトムギ（飼料用）	１３２	6	8	9
		子実用はと麦	１２１	6	8	9
		その他飼料作物	１３３	6	8	9
		その他飼料作物（資源循環非対象）	１３４	6	8	9
		飼料用青刈り稲	１５７	6	8	9
	新規需要米	稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオバ、タカナリ、兵系飼７８号（兵庫牛若丸）、夢あおば	１３５	8	9	
		稲発酵粗飼料用稲（その他）	１３６	8	9	
	加工用米（もち米を含む）	飼料用米	１１６	8	9	
		米粉用米	１１５	8		
		加工用米	１１９	6	8	
		そば	１１７	4	8	
		なたね	１１８	8		
その他作物	野菜	きゅうり	２００	5	6	
		トマト	２０１	5	6	
		なす	２０２	5	6	
		大市なす	２８５	5	6	
		ピーマン	２０３	2	6	
		ししとう	２８８	5	6	
		トウガラシ	２９３	5	6	
		ズッキーニ	２８９	5	6	
		かぼちゃ	２０４	5	6	
		くり南瓜	２８２	5	6	
		いちご	２０５	5	6	
		すいか	２０６	5	6	
		メロン	２０７	5	6	
		キャベツ	２０８	3	6	
		キャベツ（裏作転作）	２０９			
		はくさい	２４８	5	6	
		はくさい（裏作転作）	２１０			
		さんとうさい	２９２	5	6	
		ほうれんそう	２１１	5	6	
		オクラ	２６２	5	6	
		ハス	２６８	5	6	

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号		
その他作物	野菜	ねぎ	２１２	5	6	
		太ねぎ	２６３	5	6	
		岩津ねぎ	２６５	5	6	
		丹波ひかみねぎ	２６６	5	6	
		たまねぎ	２５４	5	6	
		たまねぎ（裏作転作）	２１３			
		らっきょ	２９１	5	6	
		レタス	２１４	5	6	
		レタス（裏作転作）	２６４			
		だいこん	２５６	5	6	
		だいこん（裏作転作）	２１５			
		青味だいこん	２８４	5	6	
		にんじん	２１６	5	6	
		にんじん（裏作転作）	２８７			
		さといも	２１７	5	6	
		れんこん	２１８	5	6	
		しょうが（根ｼｮｳｶﾞ）	２１９	5	6	
		えだまめ（白大豆）	２２０	5	6	
		えだまめ（黒大豆）	２５５	5	6	
		青さやいんげん	２２１	5	6	
		未成熟とうもろこし	２２２	5	6	
		食用ばれいしょ	２２３	5	6	
		食用かんしょ	２２４	5	6	
		尼藷（あまいも）	２８１	5	6	
		アスパラガス	２２５	5	6	
		きのこ類	２２６	5	6	
		ブロッコリー	２２７	5	6	
		ニラ	２２８	5	6	
		やまのいも	２２９	5	6	
		未成熟そらまめ	２３０	5	6	
		一寸そら豆	２３７	5	6	
		しゅんぎく	２３１	5	6	
		青さやえんどう	２３２	5	6	
		うすいえんどう	２３８	5	6	
		かぶ	２３３	5	6	
		ごぼう	２３４	5	6	
		まくわうり	２３５	5	6	
		しろうり	２３６	5	6	
		ベっちんうり	２８０	5	6	
		とうがん	２８６	5	6	
		セロリ	２３９	5	6	
		食用ななな	２８３	5	6	
		その他つけな類	２４０	5	6	
		みつば	２４１	5	6	
		パセリ	２４２	5	6	
		ふき	２４３	5	6	
		しそ	２４４	5	6	
		なた豆	２４５	5	6	
		うど	２４６	5	6	
		キクイモ	２４７	5	6	
		チンゲンサイ	２４９	5	6	
		その他中国野菜	２５０	5	6	
		その他野菜	２５１	5	6	
		加工食品用ばれいしょ	２５２	5	6	
		カリフラワー	２５３	5	6	
		しろな	２５７	5	6	
		こまつな	２５８	5	6	
		みずな	２５９	5	6	
		ヤーコン	２６０	5	6	
		わさび	２６１	5	6	
		セリ	２６７	5	6	
		その他湛水性作物	２６９	5	6	
		モロヘイヤ	２７０	5	6	
		バジル	２７１	5	6	
		ハーブ	２９０	5	6	

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号		
その他作物	野菜	ニンニク	２７２	5	6	
		ニンニク（特産）	２７３	5	6	
		みょうが	２７４	5	6	
		ゴーヤ	２７５	5	6	
		よもぎ	２７６	5	6	
		わらび	２７７	5	6	
		こごみ	２７８	5	6	
		施設野菜	２７９	5	6	
	果樹	日本なし	４０１	5	6	
		西洋なし	４０２	5	6	
		もも	４０３	5	6	
		うめ	４０４	5	6	
		びわ	４０５	5	6	
		かき	４０６	5	6	
		くり	４０７	5	6	
		いちじく	４０８	5	6	
		キウイフルーツ	４０９	5	6	
		ゆず	４１０	5	6	
		すだち	４１１	5	6	
		ブルーベリー	４１３	5	6	
		うんしゅうみかん	４１４	5	6	
		りんご	４１５	5	6	
		ぶどう	４１６	5	6	
		おうとう	４１７	5	6	
		その他果樹	４１２	5	6	
	花き	花き	５００	5	6	
		若松	５０１	5	6	
		花木	５０４	5	6	
		種苗類	５０２	5	6	
		芝	５０３	5	6	
		ツノナス	５０５	5	6	
		カーネーション	５０６	5	6	
		ストック	５０７	5	6	
		なたね（花）	５０８	5	6	
		キク	５０９	5	6	
		キンセンカ	５１０	5	6	
	地力増進作物	地力増進水稲	６５８			
		とうもろこし（地力）	６５０			
		ソルガム（地力）	６５１			
		クローバー（アカ、シロ）	６５２			
		れんげ（地力）	６５３			
		ヘアリーベッチ（地力）	６５４			
		その他地力増進作物	６５５			
	景観形成作物	コスモス	７００			
		ひまわり（景観）	７０１			
		なたね（景観）	７０２			
		マリーゴールド	７０３			
		れんげ（景観）	７０４			
		そば（景観）	７０５			
		ベにばな	７０６			
		チューリップ	７０８			
		ヘアリーベッチ（景観）	７０９			
		その他景観形成作物	７０７			

※その他対象作物

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号		

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号		
その他作物	その他	ハトムギ	９００			
		その他雑穀	８００			
		小豆	９０１	1	6	
		白小豆	９０５	5	6	
		落花生	９０２	5	6	
		その他豆類	９０３	5	6	
		大納言小豆	９０４	1	6	7
		薬用作物	８２５	5	6	
		まんねんたけ	８２６			
		うこん	８２７			
		ドクタミ	８４０			
		カワラケツメイ	８４１			
		その他薬用きのこ	８２８			
		香料作物	８２９			
		みつ源れんげ	９１１			
		みつまた	９１２			
		その他一般作物	８４８			
		ひまわり	８４９			
		藍	８５０			
		ごま	８５２			
		こうぞ	９１４	5	6	
		切花用母樹	９１５	5	6	
		その他永年性作物	８２０			
		山椒	８２１	5	6	
		朝倉山椒	８２４	5	6	
		ユーカリ	８２２			
		たらの芽	８２３	5	6	
		たばこ	８３７			
		こんにゃく	８３８			
		その他特例作物扱い	８３９			
	その他	茶	９３４			
		桑	９３５			
水稲	新規需要米	援助米	９１６			
		試験研究米	９１７			
		新規需要米（輸出用米）	１５４			
		新規需要米（種子）	１５６			
		バイオ燃料用米	１５９			
		新規需要米（その他）	１５５			
	主食用水稲等	新規需要米（枠外酒米）	１６４			
		加工用青刈り稲	１５８			
		直播栽培	１６０			
		有機栽培	１６１			
		その他減収栽培	１６２			
		その他減収栽培（２）	１６３			
		主食用水稲	１５０			
		酒造好適米	１５１			
		種子生産ほ場（種子用米）	１５２			
		備蓄米	１５３			

※その他対象作物

カテゴリ	区分	作物等名	作物コード	整理番号		